

中央急送株式会社に対する 「GHG見える化インパクトファイナンス」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、中央急送株式会社（代表取締役社長：久保 慎二、以下「中央急送」）に対し、「GHG見える化インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）を実行しました。本件は、本商品の第一号案件となります。

本商品は、GHG排出量の可視化・削減プラットフォーム「e-dash」を提供するe-dash株式会社（代表取締役：山崎 冬馬、以下「e-dash」）とともに、中堅・中小企業のお客さまに対し脱炭素への取り組みの第1歩から伴走支援する商品です。本商品の特徴は、①「e-dash」を活用した簡便で正確な排出量の見える化と削減目標の設定、②融資期間中のモニタリングを通じた削減目標達成の方策検討により、お客さまをサポートすることです。みずほ銀行は、本商品の提供を通じ、中堅・中小企業のお客さまの脱炭素化、およびそれに向けた事業の強化・転換を支援し、日本のカーボンニュートラル達成に貢献していきます。また、お客さまとともにインパクトと収益の創出の好循環を実現し、社会・環境課題の解決と企業価値向上を目指します。

なお、本商品のフレームワークは、株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）より環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に適合する旨の意見書を取得しています（※2）。

中央急送は運送業を展開するなかで、CO₂排出削減や働きやすい職場づくりといったサステナビリティ課題に取り組んでいます。具体的には、燃料使用量や作業効率などの現状を可視化し、課題を明確化したうえで目標を設定し、全社員で目標達成に向けた行動を推進することで、環境負荷の低減と地域社会への貢献を図っています。さらに、地域との連携を深め、持続可能な物流の実現を目指しています。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

<案件の概要>

融 資 先：中央急送
貸 付 人：みずほ銀行
契 約 金 額：1億円
契 約 締 結 日：2026年2月25日
実 行 日：2026年2月27日
期 間：5年

(※1) 「GHG 見える化インパクトファイナンス」

2025年2月13日付ニュースリリース「GHG 見える化インパクトファイナンス」の取扱開始について
https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20250213_2release_jp.pdf

(※2) JCR のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

【e-dashについて】

会 社 名	e-dash 株式会社
代 表 者	代表取締役 山崎 冬馬
所 在 地	〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目 8 番 18 赤坂 JEBL6 階
設 立	2022 年 2 月 7 日
事 業 内 容	CO ₂ 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発・運営 サプライチェーンの ESG データ収集・分析・実行支援「e-dash Survey」の運営 カーボンフットプリント算定サービス「e-dash CFP」の開発・運営 カーボンクレジットのマーケットプレイス「e-dash Carbon Offset」の運営
U R L	https://e-dash.io/

以 上